

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	15,768	3.8	1,686	△20.0	2,193	△17.3	1,235	△16.7
21年3月期第1四半期	15,194	—	2,108	—	2,652	—	1,482	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	22.75	—
21年3月期第1四半期	27.33	25.21

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	142,456	120,231	84.3	2,211.58
21年3月期	140,181	118,415	84.4	2,177.96

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 120,067百万円 21年3月期 118,249百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		16.00	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	31,700	4.6	3,100	15.2	3,400	21.0	2,000	28.5	36.84
通期	65,500	1.5	6,500	1.7	7,100	15.0	4,300	108.6	79.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	56,911,185株	21年3月期	56,911,185株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,620,660株	21年3月期	2,617,582株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	54,291,510株	21年3月期第1四半期	54,255,528株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な在庫調整の進展により輸出の持ち直しや生産回復の兆しが見えてきましたものの、企業収益の悪化に伴う設備投資の減少や雇用・所得環境の一層の悪化など引き続き厳しい状況下であり、依然として先行き不透明な中に推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品の使用促進策等の医療費削減施策が引き続き推進されるなど一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業収益の悪化に伴うIT投資及び設備投資の大幅な減少や内需の低迷などを背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、本年2月に新たに錠剤を発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>」、同じく2月に効能追加（チアゾリジン系薬剤との併用療法）の承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、当社が創製しワトソン社（アメリカ）に技術導出した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）につきまして、同社では米国製品名「RAPAFLO<sup>™</sup>」として本年4月に新発売しております。

研究開発面では、平成20年11月に共同開発先である日本ケミカルリサーチ株式会社より承認申請されました腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）の承認取得に向けたフォローを行いましたほか、悪性中皮腫治療薬（抗CD26ヒト化抗体、開発番号YS110）の臨床試験を開始するなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。なお、当社が創製シグラクス・スミスクライン社（イギリス）に技術導出した新規糖尿病治療薬レモグリフロジン（一般名）につきまして、同社ではSGLT2阻害剤の競合他社による開発状況等を勘案した結果、本剤の開発を中止することを決定しております。

その他の事業におきましては、グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高157億6千8百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益16億8千6百万円（前年同期比20.0%減）、経常利益21億9千3百万円（前年同期比17.3%減）、四半期純利益12億3千5百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましてはライセンスアウトに伴う技術料売上が減少いたしましたほか、パーキンソン病治療薬「カバサル<sup>®</sup>」を始めとして既存製品が後発品・競合品による影響などにより減少いたしました。新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンなどが増加いたしましたことから、売上高は136億2千8百万円（前年同期比0.3%増）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業において減収となりましたが、建設請負業及び物品販売業において増収となり、売上高は21億3千9百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,424億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億7千5百万円（1.6%）増加しました。流動資産は834億5千9百万円となり、14億3千1百万円増加しております。主な要因は売掛金が減少しました一方で、現金及び預金が増加したことによります。固定資産は589億9千6百万円となり、8億4千3百万円増加しております。主な要因は減価償却による減少の一方、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は222億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千9百万円（2.1%）増加しました。流動負債は163億6千6百万円となり、4億2千8百万円増加しております。主な要因は支払手形及び買掛金が減少しましたが、賞与引当金の振替えによる未払費用（流動負債その他）が増加したことによります。固定負債は58億5千8百万円で、前連結会計年度末と比べ大きな増減はありません。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,202億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千6百万円（1.5%）増加しました。主な要因は利益剰余金、株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.4%から84.3%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より35億8千7百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末では462億1百万円（前連結会計年度末比8.4%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比11億3千万円増の51億8千2百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益の減少、仕入債務の減少による支出の増加はありましたが、売上債権の減少による収入が増加したこと、法人税等の支払額が減少したことなどによります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比4億1千6百万円支出増の7億2千1百万円の支出となりました。主な要因は投資有価証券の取得による支出が増加したこと、有形固定資産の売却による収入が減少したことなどによります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比6千2百万円支出増の8億7千2百万円の支出となりました。主な要因は株主配当金が増加したことなどによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、貯蔵品等一部の棚卸資産において実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ①会計基準等の改正に伴う変更

##### (完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

受注制作のソフトウェア（ソフトウェアの開発契約）及び工事契約に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）が適用されたことに伴い、当第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる場合については工事進行基準（進捗度の見積りは原価比例法）を、その他の場合については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,356	16,801
受取手形及び売掛金	21,073	23,085
有価証券	26,367	26,362
商品及び製品	5,193	5,032
仕掛品	757	1,202
原材料及び貯蔵品	3,973	4,089
繰延税金資産	2,251	1,952
その他	3,558	3,577
貸倒引当金	△72	△74
流動資産合計	83,459	82,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,454	35,382
減価償却累計額	△22,977	△23,459
建物及び構築物（純額）	11,477	11,922
土地	13,415	13,415
建設仮勘定	24	16
その他	14,189	14,148
減価償却累計額	△11,377	△11,134
その他（純額）	2,811	3,014
有形固定資産合計	27,728	28,368
無形固定資産	2,081	2,251
投資その他の資産		
投資有価証券	25,825	23,128
繰延税金資産	1,428	2,267
その他	1,983	2,185
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	29,187	27,532
固定資産合計	58,996	58,152
資産合計	142,456	140,181

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,152	5,698
短期借入金	2,402	2,402
未払法人税等	1,075	521
賞与引当金	1,086	1,937
その他の引当金	609	730
その他	6,039	4,646
流動負債合計	16,366	15,938
固定負債		
長期借入金	816	841
退職給付引当金	3,504	3,434
役員退職慰労引当金	106	103
その他	1,431	1,448
固定負債合計	5,858	5,827
負債合計	22,224	21,765
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,253	24,253
利益剰余金	73,315	72,894
自己株式	△4,306	△4,300
株主資本合計	117,619	117,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,448	1,044
評価・換算差額等合計	2,448	1,044
少数株主持分	163	165
純資産合計	120,231	118,415
負債純資産合計	142,456	140,181

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	15,194	15,768
売上原価	5,067	5,585
売上総利益	10,127	10,183
返品調整引当金戻入額	24	21
返品調整引当金繰入額	28	14
差引売上総利益	10,123	10,190
販売費及び一般管理費	8,014	8,503
営業利益	2,108	1,686
営業外収益		
受取利息	65	38
受取配当金	294	266
有価証券評価益	217	245
その他	55	16
営業外収益合計	632	567
営業外費用		
支払利息	41	12
会員権評価損	18	—
為替差損	—	47
その他	29	1
営業外費用合計	89	60
経常利益	2,652	2,193
特別利益		
固定資産売却益	80	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	94
投資有価証券評価損	244	15
減損損失	—	312
その他	13	0
特別損失合計	258	422
税金等調整前四半期純利益	2,474	1,770
法人税、住民税及び事業税	1,151	947
法人税等調整額	△158	△410
法人税等合計	992	537
少数株主損失(△)	△0	△2
四半期純利益	1,482	1,235

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,474	1,770
減価償却費	907	794
引当金の増減額 (△は減少)	△2,648	△901
減損損失	—	312
受取利息及び受取配当金	△360	△305
支払利息	41	12
為替差損益 (△は益)	△2	0
有価証券評価損益 (△は益)	△217	△245
有形固定資産売却損益 (△は益)	△80	—
固定資産処分損益 (△は益)	1	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	94
投資有価証券評価損益 (△は益)	244	15
売上債権の増減額 (△は増加)	824	2,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△219	399
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△109	295
仕入債務の増減額 (△は減少)	814	△545
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,726	1,595
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,378	△0
その他	18	3
小計	4,795	5,307
利息及び配当金の受取額	317	282
利息の支払額	△43	△14
法人税等の支払額	△1,016	△392
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,052	5,182
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△21
定期預金の払戻による収入	44	50
特定金銭信託の払戻による収入	30	—
有価証券の売却及び償還による収入	—	0
有形固定資産の取得による支出	△340	△393
有形固定資産の売却による収入	107	2
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△41	△74
投資有価証券の取得による支出	△400	△728
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	274
貸付けによる支出	△24	△55
貸付金の回収による収入	34	68
長期前払費用の取得による支出	△1	△0
その他	147	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305	△721

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	340	100
短期借入金の返済による支出	△350	△100
長期借入金の返済による支出	△24	△24
リース債務の返済による支出	—	△26
自己株式の取得による支出	△15	△6
配当金の支払額	△759	△814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809	△872
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,939	3,587
現金及び現金同等物の期首残高	45,874	42,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,813	46,201

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,586	1,608	15,194	—	15,194
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	869	869	(869)	—
計	13,586	2,477	16,063	(869)	15,194
営業利益又は営業損失	2,085	△44	2,041	67	2,108

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,628	2,139	15,768	—	15,768
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	783	783	(783)	—
計	13,628	2,923	16,552	(783)	15,768
営業利益又は営業損失	1,675	△30	1,644	42	1,686

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 販売実績

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	931	6.1	1,144	7.3	213	22.9
神経系用薬	1,168	7.7	947	6.0	△221	△18.9
感覚器官用薬	700	4.6	642	4.1	△57	△8.2
循環器官用薬	3,265	21.5	3,049	19.3	△216	△6.6
消化器官用薬	641	4.2	697	4.4	56	8.8
ホルモン・泌尿生殖・血液体 液用薬	3,527	23.2	3,929	24.9	401	11.4
アレルギー用薬	633	4.2	558	3.5	△74	△11.8
その他	2,717	17.9	2,659	16.9	△58	△2.2
計	13,586	89.4	13,628	86.4	42	0.3
その他の事業	1,608	10.6	2,139	13.6	531	33.1
合計	15,194	100.0	15,768	100.0	574	3.8
(うち輸出高)	(1,239)	(8.2)	(1,004)	(6.4)	(△235)	(△19.0)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

平成22年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

1. 連結決算概要

(百万円)

項目	決算期		平成22年3月期			
	平成21年3月期		第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
	第1四半期	通期				
売上高	15,194	64,535	15,768	3.8%	31,700	65,500
営業利益 (売上高比%)	2,108 (13.9)	6,393 (9.9)	1,686 (10.7)	△ 20.0%	3,100 (9.8)	6,500 (9.9)
経常利益 (売上高比%)	2,652 (17.5)	6,174 (9.6)	2,193 (13.9)	△ 17.3%	3,400 (10.7)	7,100 (10.8)
当期純利益 (売上高比%)	1,482 (9.8)	2,061 (3.2)	1,235 (7.8)	△ 16.7%	2,000 (6.3)	4,300 (6.6)
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費) (売上高比%)	8,014 (2,317) (15.3)	34,422 (11,556) (17.9)	8,503 (2,766) (17.5)	6.1% (19.4%)	17,600 (5,900) (18.6)	36,300 (12,800) (19.5)
輸出高	1,239	2,917	1,004	△ 19.0%	1,070	2,060

2. 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	決算期		平成22年3月期			
	平成21年3月期		第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
	第1四半期	通期				
排尿障害改善薬 ユリーフ	1,312	6,288	2,071	57.9%	4,350	9,280
糖尿病治療薬 グルファスト	931	4,297	1,144	22.9%	2,510	5,430
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	148	664	195	31.7%	450	920
高脂血症治療薬 ベザトール	2,191	8,788	2,188	△ 0.1%	4,400	8,800
血圧降下薬 シナロンG	300	1,193	295	△ 1.6%	610	1,220
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	1,343	5,450	1,213	△ 9.7%	2,850	5,400
脳循環改善薬 キサンボン	774	2,921	565	△ 27.0%	1,250	2,370
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	414	2,943	372	△ 10.1%	980	2,560
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	504	2,086	465	△ 7.8%	960	1,960
気管支喘息治療薬 ドメナン	128	482	93	△ 27.3%	240	460
パーキンソン病治療薬 カバサル	1,117	3,953	871	△ 22.0%	1,900	3,450
血液凝固阻止剤 フラグミン	355	1,389	324	△ 8.7%	630	1,240
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンT G点眼液	286	1,125	270	△ 5.6%	560	1,100
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	188	740	162	△ 13.8%	340	650
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	189	670	158	△ 16.5%	330	650

### 3. 新薬開発状況(自社)

(平成21年7月現在)

開発段階	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	JR-013	導入品／日本ケミカルリサーチ共同開発	透析施行中の腎性貧血	赤血球増加作用	バイオ後続品
第Ⅲ相準備中	KUC-7483	創製品	過活動膀胱	$\beta$ 3受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズセラピューティックス、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KMV-0207	自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善	速効・短時間型インスリン分泌促進作用＋ $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ ボグリボース 配合剤

※前回公表時(平成21年5月)からの変更点：①KUC-7483：第Ⅱ相→第Ⅲ相準備中、②KLS-0611(第Ⅱ相)：開発中止により削除

## 4. 新薬開発状況(導出)

(平成21年7月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	※1 中国 ..... ※2 アセアン(10カ国)	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	レコルダッチ(イタリア)	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
		第一三共(日本)	中国		
	シンモサ(台湾)	※3 台湾、香港			
承認申請準備中	シロドシン (silodosin)	エーザイ(日本)	アセアン(10カ国)、インド、 スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	エリキシア(アメリカ)	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
		オリエントユーロ(台湾)	※3 台湾、香港		
		USV(インド)	※3 インド		
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β 2受容体刺激作用
	トラニラスト (tranilast)	ニュオンセラピューティックス (アメリカ)	日本、韓国を除く全世界	関節リウマチ	サイトカイン、ケミカルメディエーター、 活性酸素遊離・産生抑制作用
第Ⅰ相	KGA-3235	大日本住友製薬(日本)	日本	2型糖尿病	SGLT1阻害作用
		グラクソ・スミスクライン(イギリス)	欧米他		

※前回公表時(平成21年5月)からの変更点: ①レモグリフロジン(第Ⅱ相): グラクソ・スミスクライン社による開発中止により削除

※1: 承認取得まではキッセイ

※2: 申請準備中地域を含む

※3: 第Ⅲ相臨床試験からの開発(第Ⅰ相及び第Ⅱ相臨床試験はスキップ)